

絆

きずな

ご自由にお持ちください

第3号 特集

- ステントグラフト治療とは？
- 健康教室・市民講座開催
- 子宮頸がん^{けい}予防ワクチン など



～タオル帽子を製作中のボランティアの皆さん～

病院ボランティアを募集しています



ボランティアさんは病院内で黄色のエプロンを着用しています

【活動日時】
月～金 8時30分～11時くらいのご都合の良い時間帯

【活動内容】
受診手続きのお手伝い、案内、車椅子の介助、タオル帽子の製作など

【対象】
16歳以上の心身共に健康な方で、患者さんのプライバシーを守る方

ボランティア参加に興味のある方は、お気軽にお問い合わせください。

市立小樽病院 地域医療連携室
TEL 25-1211 内線 377

～ボランティアさんより～

「自分の都合の良い時にできることをやっています。気負わず、自分のペースでできますし、初めての方でも大丈夫です。一緒に活動してみませんか。」

市立小樽病院では、約2年半前からボランティアの方たちに活動していただいています。患者さんのお手伝いをしながら、来院者の視点で院内を見て気付いたことが、設備の改善につながったということもあり、今では病院にとって欠かせない存在です。

ボランティアの阿部さんは、遠くに住むご両親が地域の方のお世話になっていることから、自分も病院へ来られる方のお役に少しでも立ちたいという思いで、ボランティア活動をしているそうです。患者さんからの「ありがとう」の言葉が最高のご褒美と話されていました。

今回は小樽病院のボランティアさん取材しましたが、医療センターでも、16年ほど前から精神科デイケアの作業療法（習字・手芸・陶芸）実施に当たり、ボランティアでご指導いただいています。また、玄関先で患者さんが車から乗り降りする際の介助ボランティアを今後募集する予定です。



特集 ステント

ステントグラフト手術のメリット

人工心肺装置が不要。体を大きく切る必要がないので、負担が少なく済みます。

動脈瘤の内側でステントグラフト（人工血管）を広げ破裂を防ぎます。

太腿の血管から細く折りたたんだ人工血管を血管内に差し込みます。

術後は？

早い方は手術の翌日から食事や歩行が可能になり、入院期間も術後は10日間程度です。

退院後は定期健診で体の状態を確認します。生活習慣病の改善も大切です。

ステントグラフト手術を受けた方にお話を伺いました ～80代男性 Mさん

1. 大動脈瘤の発見について、自覚症状や体調の異変はありましたか？

調子の悪いところは全くなかったのですが、かかりつけ医でのエコー検査で大動脈瘤があると言われ驚きました。

2. 医療センターでどのような説明・治療を受けましたか？

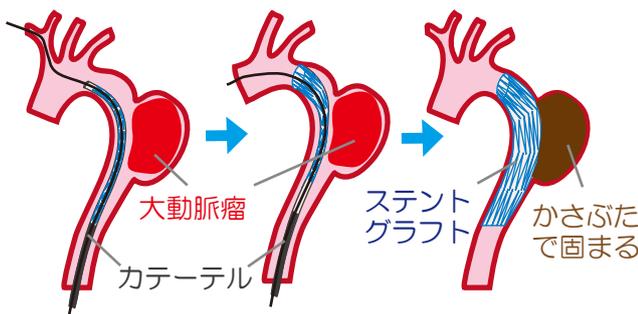
大動脈瘤があるので、破裂する前に手術を受ける必要があると言われました。ステントグラフト手術について、図に書いて分かりやすい言葉で説明していただきました。血管に網（ステント）がうまく入らない場合は、再度、開腹手術が必要になるかもしれないという説明も受けました。担当の深田先生は、聞いたことに対して丁寧に教えてくださるので、病気の手術という不安はもちろんありましたが、安心して手術に臨むことができました。持病である目の手術を控えていたので、先生に相談し、経過を見ながら大丈夫だろうとのことで、目の手術を先に行い、大動脈瘤が発見されてから3カ月後にステントグラフト手術を行いました。



担当医

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター
心臓血管外科 医療部長 深田 穰治

ステントグラフト内挿術



大動脈瘤に対しては従来、胸やお腹を開けて、動脈瘤を切り取り、人工血管に取り換える大掛かりな手術を行ってまいりました。しかしながら、この疾患は高齢者に多く発生し、手術に耐える体力が十分でない場合があります。現在は、太腿の付け根の小さな切開（3～4cm）から人工血管を挿入し、動脈瘤の内側に固定するステントグラフト手術が多く行われています。体にかかる負担が小さいため、高齢者でも安全に短期間の入院で治療を受けることが可能になりました。

小樽市立脳・循環器・こころの医療センターの心臓血管外科のステントグラフト手術

小樽市立脳・循環器・こころの医療センターでは、年間30～40例の腹部・胸部ステントグラフト手術を行っています。後志管内でこの治療を行っているのは当院のみです（平成24年8月現在）。地域の医療機関で偶然、大動脈瘤が発見され、当院に紹介状を持ってこられる患者さんが多く、経験豊富な専門医が対応しています。

かかりつけ医での診察、定期健診などで大動脈瘤を早期発見することが重要です。

グラフト手術

小樽市立脳・循環器・こころの医療センターでは、以前に病院広報誌『しんらい』で「ステントグラフト治療」について特集しています。病院ホームページ>病院広報誌>しんらい9号のPDFファイルにてご覧いただけます。

1年半前にステントグラフト手術を受け、定期健診に来られたMさん（80代男性）に、取材をお願いしたところ、自分の体験談がこれから手術を受けられる方の参考になるのならと、付き添いで来られていた奥様と一緒に快くお答えくださいました。ご協力ありがとうございました。

3. 入院から退院まではどのような経過でしたか？

もともと自覚症状がなかったのと、（ステントグラフト手術は）体への負担が軽かったので、手術をしたという感じはしませんでした。手術翌日から食事も取れるようになりました。普段と変わらない体調で入院期間を過ごし、手術前の検査も含め約20日で退院しました。開腹しての再手術の必要もありませんでした。



4. 日常生活習慣について、手術後に変化はありましたか？

食生活は塩分濃い目が好みなので、気を付けるようにしています。

5. 今回の手術や病気を経験し、何か感じられたことはありますか？

たまたま受けたエコー検査で大動脈瘤が発見されたことに、とても感謝しています。

随分前になりますが、自分の兄も自覚症状がないうちに大動脈瘤を破裂させ、こちらの病院（当時、小樽市立第二病院）に運ばれ一命を取り留めましたが、開腹しての大手術でした。

大動脈瘤は、破裂するまで症状がないということを実感したので、周りの人たちにもエコー検査を勧めるようになりました。

前触れなく破裂する大動脈瘤とは？

生活習慣病（高血圧、喫煙、高血糖、高コレステロール血症）などにより動脈の破壊や劣化が進んで動脈硬化が起こります。それが進むと血管が詰まるだけでなく、血管の壁がもろくなり風船のように膨らむことがあります。無症状のうちに数年の経過で拡大し、場合によっては破裂して命を落とすこともある疾患です。

小樽市病院局・高等看護学院 潮ねりこみに参加しました



Dr. キッシーのなんでもクリニック

市立小樽病院 健康管理科の **ON AIR**
岸川和弘先生がラジオ番組出演中！

76.3 MHz FMおたる「続・おめしゅきっ！」
毎週金曜日 朝8時～11時 田口智子パーソナリティー
※「Dr. キッシーのなんでもクリニック」のコーナーは 毎月第3金曜日 10時～約15分間

合同健康教室開催～ H24. 7. 21



市立小樽病院
6階講堂

「室内で熱中症!？」
「腰痛体操」



回数を重ねるごとに参加者が増えている市立病院合同の健康教室。今回も約 60 名の方が参加されました。季節に合わせた題材や要望の多いものを毎回考え、実施しています。次回の健康教室は来年 1 月頃を予定しており、ホームページや広報おたる、院内ポスターなどで告知します。体脂肪測定や健康相談も行っていきますので、どうぞご参加ください。



子宮頸がん予防ワクチン

公費助成中

子宮頸がんは女性特有のがんの中で、乳がんの次に多く、従来は 30～50 歳がピークでしたが、最近は 20～30 歳の発症が増えています。原因は性交渉によるウイルス感染と言われており、遺伝とは関係ありません。中学生になったら、早めの接種で予防しましょう。

★公費助成期間★

平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日

★無料接種対象者(市内に住居登録している方)★

中学 1 年生(13 歳)～高校 1 年生(16 歳)

★接種回数★ 3 回

※2 回目は 1 回目接種の 1～2 カ月後
(ワクチンにより異なる)、3 回目は 6 カ月後

★無料対象者以外(期間限定なし)★

1 回の接種につき 1 万 4 7 0 0 円

市立小樽病院の小児科・婦人科で接種できます。

小児科：木曜日 午後

婦人科：月・火・木曜日 午前・午後

市立小樽病院 / 小樽市立脳・循環器・こころの医療センター

両院合同市民講座

10月12日(金) 17:00 受付開始
17:30 開場

場所：市民センター マリンホール

【講演会 18:00～】

講演会 I 「胃がん・大腸がんの ABC
～知っておきたいこと、知ってほしいこと」

講師：市立小樽病院医療部長(内科) 後藤 啓

講演会 II 「乳がんのお話」

講師：市立小樽病院副院長(外科) 権藤 寛

講演会 III 「緩和ケアってどんなもの？」

講師：市立小樽病院緩和ケア認定看護師 早川直美

17:30～18:00 ★健康チェック ★健康相談
(開場～講演開始前) (血管年齢測定・足指力測定・体脂肪測定)

*内容は変更することがあります。
詳細は広報おたる、ホームページなどで再度お知らせします。

【問い合わせ先】 市立小樽病院 地域医療連携室 TEL 25-1211 内 377
小樽市立医療センター 地域医療連携室 TEL 33-4151 内 163

ご寄付いただきました

このたび、越前谷脳神経クリニック(越前谷幸平院長)様より 100 万円分の医療機器をご寄付いただきました。心からお礼を申し上げます。また、市立病院新築資金基金には、累計 85 件、6611 万 5613 円のご寄付を皆様からいただいています(平成 24 年 7 月末日現在)。



市立小樽病院

小樽市若松 1 丁目 2 番 1 号 TEL (0134) 25-1211

小樽市立脳・循環器・こころの医療センター

小樽市長橋 3 丁目 11 番 1 号 TEL (0134) 33-4151

ホームページ

小樽市病院局 検索



発行 小樽市病院局 編集 両院合同広報誌・HP 委員会

【事務局】経営管理部 管理課 TEL (0134) 25-1211 内線 304